

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連 (四国)	良くなる やや良くなる	-	-
		商店街（代表者）	・大規模小売店に中心街が席卷されている。街で商売や事業を始める若者も激減しており、中心市街地の活気が喪失している。
		商店街（代表者）	・中心市街地活性化基本計画が国に認定され、いろいろなハード事業がここ5年くらいで進むようになっている。消費者マインドが政権交代後に上昇し、店主のマインドもかなり前向きになっている。空き店舗も埋まりつつあり、やや良くなる。
		一般小売店〔生花〕（経営者）	・順調に予約が入ってきている。購入しなくても下見に来る客が増えた。
		百貨店（営業担当）	・来客数が増えており、買上数も増えている。高額商品も少しずつ増えており、やや良くなる。
		コンビニ（店長）	・建設業の客の増加に伴って少しずつ好転していくと感じている。
		コンビニ（商品担当）	・昨年より売上が上振れて推移している。特にファストフードが好調で、出かける人が増えてくるので、やや良くなる。
		衣料品専門店（経営者）	・気温の上昇とともに、売上、来客数も伸びてきたように感じている。株価も上昇しており、期待を寄せている。
		家電量販店（店員）	・来客数増が購入量・金額増につながっており、やや良くなる。
		住関連専門店（経営者）	・政権が代わり、円安傾向、株式も上昇しており、全体的に明るい感じはする。
		その他専門店〔酒〕（経営者）	・花見やゴールデンウィークの時期は販売量の動きも良くなるので、売上も上昇すると思われ、やや良くなる。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（副支配人）	・わずかながら売上増を見込んでおり、やや良くなる。
		観光型旅館（経営者）	・3月後半から、4～5月の予約状況が良くなってきており、皆の意識が変わってきているのではないかと。景気が良くなっていくことは間違いないと思う。
	通信会社（企画）	・客の様子もここ数か月いい状態が続いていることから、徐々に良くなると思われる。	
	観光名所（職員）	・来客数の増加が見込めるため、やや良くなる。	
	設計事務所（所長）	・民間の遊休地で開発の気配が出てきている。	
	変わらない	商店街（事務局長）	・原材料高や将来の増税への不安もあり、消費者の購買行動に慎重さが感じられる。高額品の一部により動きがみられるものの、まだ一般消費者の財布のひもは固いと思われる。
		一般小売店〔酒類〕（経営者）	・特に良くなる理由も、悪くなる理由も見当たらない。
		一般小売店〔酒〕（販売担当）	・首都圏は景気回復の傾向のようだが、地方はまだ先のことになりそうだ。人口減少で需要が増える見込みはなく、物品販売は難しい。
		百貨店（総務担当）	・気温が上昇すると、春物衣料の動きに期待が出来る。
スーパー（企画担当）		・来客数は増加するが、客単価は上がらないとみる。売上の上昇はかなり厳しい。	
コンビニ（総務）		・先行き不透明のため。	
衣料品専門店（総務担当）		・景気回復のニュースが多くなっているが、まだ客の購買意欲が上がっているとは感じられない。	
乗用車販売店（従業員）		・自動車の受注台数が前年比約50%増で推移している。	
乗用車販売店（営業担当）		・需要期の動きからみて、今後も期待は薄い。	
スナック（経営者）		・景気が良くなると言われているが、当店で反映されてくるまでは時間がかかるのではないかとと思う。	
都市型ホテル（経営者）		・心理的には景気は良くなってくると思うが、現実には、物価の高騰に収入が追い付いていないと考える。	
旅行代理店（支店長）		・今後も景気の回復感で国内旅行需要は上向くと思われるが、このまま円安が続けば海外旅行需要が落ち込み、全般として需要の伸びはあまり期待できない。	
タクシー運転手		・春が来てお遍路も始まっているが、昨年より少ない感じである。この先、良くなるような要素も見当たらないので、変わらない。	
タクシー運転手		・ハイヤー・タクシー業界において、昨年度、60台保有している会社が倒産し、今月も13台前後保有しているハイヤー会社が倒産した。送別会等の頻度が少なくなっており、この傾向は今後も変わらないと思う。	

	ゴルフ場（従業員）	・4～5月の予約状況は、昨年より若干良い状況である。少しは良くなる気配があるが、単価の下落もあり、しばらくは今の現状で推移する。	
	競艇場（職員）	・ゴールデンウィークを控えているが、準優勝戦、優勝戦が平日開催になるため、売上増があまり期待できない。	
	美容室（経営者）	・アベノミクス効果が地方に現れる前に各種の値上げが始まっているため、消費マインドは低いまましばらく続くと思う。	
	設計事務所（職員）	・2か年継続の仕事量が少なくない。年度当初は手持ち仕事量が減少する時期であるが、今年度は、年度初めから稼働状況が良く、数か月先までこの状況は変わらないといえる。	
	住宅販売会社（従業員）	・消費税増税前の駆け込み需要はまだない。具体的な商談数の増加につながっていないように思われる。販売量も横ばいで推移している。	
やや悪くなる	スーパー（統括担当）	・株価が上がって景気は良さそうであるが、消費者の客単価は上がっていない。	
	乗用車販売店（従業員）	・消費税増税前の期間は非常に不安定な購買心理が続くのではないかと感じている。	
	乗用車販売店（従業員）	・ガソリン価格の高騰によりハイブリッド車への代替需要は継続すると思われるが、現状の市場は前年比80%強である。新型車発売等の予定も無いため、当面は徐々に厳しくなっていく。	
	乗用車販売店（役員）	・新車登録は2月がピークで3月は少し落ち込んでいる。4月以降も現在の状況が続くのではないかという感じがしている。自動車業界では、今年は昨年より2割落ち込むと言われており、4～6月は苦しいのではないかと。	
	通信会社（営業担当）	・1年で最大の商戦期が終わり、新端末発売までは例年販売数量が落ち込む時期であり、やや悪くなる。	
	美容室（経営者）	・今が良いので、悪くなると思う。	
悪くなる	スーパー（店長）	・大手企業が単価を引下げており、市場が活気を帯びてくるような要素もなく、悪くなる。	
企業 動向 関連 (四国)	良くなる	食料品製造業（商品統括）	・資源の国産化の可能性が大きく取り上げられ、未来の日本について良いイメージが形成されつつある。
		繊維工業（経営者）	・各地で小売店の新規開業などが今後も続くと思われる。円安、株高で消費者マインドが上向き、タオル業界でも高額品の販売が伸びそうである。全体的には上向くと思う。
		一般機械器具製造業（経理担当）	・期待先行であることは承知しているが、足元の円安、株高を見る限りでは、しばらくは追い風が続くと考えている。
	やや良くなる	通信業（部長）	・政権の安定と景気対策が見込まれることで、企業の投資意欲も上向くと思われる。
金融業（融資担当）		・新聞の求人も増え、身の回りでも就職できる人が増加している。	
変わらない	農林水産業（総務担当）	・電気料金の値上げ等で、節約志向が強まることを懸念している。	
	パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	・現在の状況がすぐには変わるとは思えない。また、小売に対して価格修正が通るかどうかがポイントである。	
	建設業（経営者）	・早く我々の業界にもアベノミクスの影響が出るようお願いしたい。	
	建設業（総務担当）	・景気回復の期待感はあるが、受注価格に反映するには時間がかかる。	
	輸送業（経営者）	・なかなか人間のマインドは変わらない。	
	輸送業（営業）	・原油価格の上昇や円安が続く中、顧客の生産量低下による発送貨物の減少並びに地方消費の低迷による到着貨物の減少による影響は大きく、地方における景気回復は程遠いとみている。適正運賃収受問題（価格競争の激化）、燃料油の高騰、免許制度改正によるドライバー不足等の諸事情が運送事業者の経営を圧迫しており、一企業の自助努力ではどうにもならないのが現状である。	
	不動産業（経営者）	・客足や問い合わせが増えているが、これ以上良くなるとは考えられない。	
	広告代理店（経営者）	・受注は比較的堅調であるが、用紙価格や電気料金の値上げを控えており、利益を維持することが難しい。	
	広告代理店（経営者）	・円安・株高によりマインドが上がっているが、得意先の広告予算を聞く限り、広告費増加には時間がかかる見込みである。	
	公認会計士	・海運等限られた業種については円安効果のプラス面があるが、その他の企業はマイナス効果が出てくるのではないかと考える経営者や、3月末の中小企業金融円滑化法の終了により、どのような影響が出てくるのか心配している経営者がいる。	
やや悪くなる	木材木製品製造業（経営者）	・例年、仕入価格は4～6月に下落するが、今年は前年比10%程度の上昇で推移する予定である。	

		電気機械器具製造業 (経営者)	・4月1日より再生可能エネルギー固定価格買取制度の価格が10%下がるため、需要が減るのではないかと予測している。秋口までは残工事で忙しいが、それ以降は少なくなるのではないかと予測している。
		電気機械器具製造業 (経理担当)	・米国の高齢者保険圧縮などの影響を受け、当社の製品価格引下げが予想される。収益の圧迫あるいは販売減等により、収支はやや下振れすると考えている。
		輸送業(支店長)	・受注量にさほどの変化は無いが、燃料コストアップが影響して、やや悪くなる。
	悪くなる	鉄鋼業(総務部長)	・受注量・価格ともに悪化傾向であり、悪くなる。円安のメリットの影響は秋以降になる見込みである。
雇用 関連 (四国)	良くなる	-	-
	やや良くなる	人材派遣会社(営業)	・季節的に人の入替わりや組織の変化などで景気が動くと考える。雇用創出に伴って消費意欲が増す事を期待している。
		学校[大学](就職担当)	・求人依頼関係の問い合わせが昨年より増えており、今後も求人数は増加していくと期待できる。
	変わらない	求人情報誌(営業)	・円安基調により、地域基幹産業の一つである造船業の景気回復が見込まれるが、引き合いはあるものの、件数は少ない。同分野の人材採用においても、余剰人員が多く新規採用は控えている。
		求人情報誌製作会社(従業員)	・求人数が一段落すると予想される。
		新聞社[求人広告](担当者)	・ガソリンや輸入食料品、電気料金など値上げが相次ぎ、消費税増税前の駆け込み需要までは厳しいと予想する。
		職業安定所(職員)	・全体的に求人意欲の向上はみられるものの、小規模事業所からの募集で、求職者の希望とはミスマッチとなっている。
	やや悪くなる	人材派遣会社(営業担当)	・製造業などの求人が少なくなっており、先行きに不安を感じる。
		職業安定所(職員)	・月間有効求人倍率は先月より、0.03ポイント低下している。また、製造業の工場閉鎖が連続して発生している。
		民間職業紹介機関(所長)	・最近の企業訪問のなかで、特にサ・ビス業での厳しさが見受けられる。業種間での企業格差が広がっており、アベノミクス効果は、今のところ地方まで届いていないように思われる。
	悪くなる	-	-